

平成29年6月8日
公益社団法人鹿児島県畜産協会

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補填金単価（概算払）について

【平成29年4月分】

平成29年4月に県内の契約生産者が販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）第6の9及び附則10の概算払の補填金単価については、下記のとおりです。

なお、補填金単価の確定値については、平成29年8月上旬に公表する予定です。

記

鹿児島県

肉専用種
— 円

注1：平成26年度から、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補填金交付と合わせて行います。

注2：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円/頭未満の場合は概算払を行いません。

注3：平成28年度地域算定実施県は、岩手県（日本短角種）、広島県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県です。

注4：交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記のホームページで公表します。

(<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>)

(参考)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成29年4月(修正)】

(単位:円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,245,412
生産コスト (B)	1,091,743
差額 (C) = (A) - (B)	153,669
暫定補填金単価 (D) = (C) × 0.8	—
補填金単価(概算払) (D) - 4,000	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,245,412
主産物価格 ① = a × b	1,235,356
枝肉市場価格(円/kg) a	2,516
枝肉重量(kg) b	491
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,091,743
物財費 ③	995,909
もと畜費	642,181
飼料費	286,989
流通飼料費	285,525
麦類	10,922
とうもろこし	9,626
ふすま	8,865
かす類	7,574
配合飼料(暫定値)	205,077
稲わら	23,868
その他	19,593
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,312
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,912
自動車費	5,504
農機具費	8,464
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,068,582
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,482

注1: 補填金単価は100円未満切り捨て。

注2: 平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、名古屋市中央卸売市場、京都市中央卸売市場、
大阪市中央卸売市場、姫路市食肉地方卸売市場、西宮市食肉地方卸売市場、
福岡市中央卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

鹿児島中央家畜市場、指宿中央家畜市場、薩摩中央家畜市場、
出水中央家畜市場、始良中央家畜市場、曾於中央家畜市場、
肝属中央家畜市場、種子島中央家畜市場、笠利家畜市場、喜界家畜市場、
徳之島中央家畜市場、沖永良部家畜市場、与論家畜市場、
熊本県家畜市場、伊江家畜市場、久米島家畜市場、官古家畜市場、
今帰仁家畜市場、南部家畜市場、八重山家畜市場、